

中国広西壮族自治区



章 瑤さん

章 瑤さん

(二)才熊本女子大学 文学部国文学科研究生

熊本は、とてもきれいな所ですね。人も親切だと思えます。学生は中国の方が少しまじめかな。国文学を専攻していますが、最初は授業の二十パーセント位しかわからなかったけど、今は七十七パーセントわかります。学生生活も楽しく、先日は国文学科の二

年生が私たちのアパートに遊びに来て、一緒にギョーザを作って食べました。帰国したら、来年熊本に留学する人に、熊本の生活・学校の事などをアドバイスし、通訳として交流のお手伝いをしたいと思っています。



彭 海奇さん

私が熊本に来て一番感じたことは、日本の人の仕事に対するまじめさです。私も国へ帰ったら、日本の人の仕事に対する姿勢・礼儀を自分の仕事に生かしたいと思っています。また区が発行している『広西外知』という本に記事を書き、私の感じた日本を多くの人に伝えたいですね。

彭 海奇さん

(二)才熊本女子大学 文学部国文学科研究生

熊本の人は親切だなと思います。どのバスに乗ればいいのかわからなくて近くにいた人に尋ねた時など、自分も知らないからと、他の人に聞いてまで教えてくれました。

大学では、私たちが提出するレポートの文法を皆で見てくれたり、私たちが漢文の解釈を解説したり、お互いに協力し合って勉強しています。



図書館のロビーで学生と雑談

章瑤さんと彭海奇さんは、今年四月から県費留学生として、熊本女子大学で国文学を学んでいます。二人は、同自治区の国際交流を担当している外事弁公室の職員です。

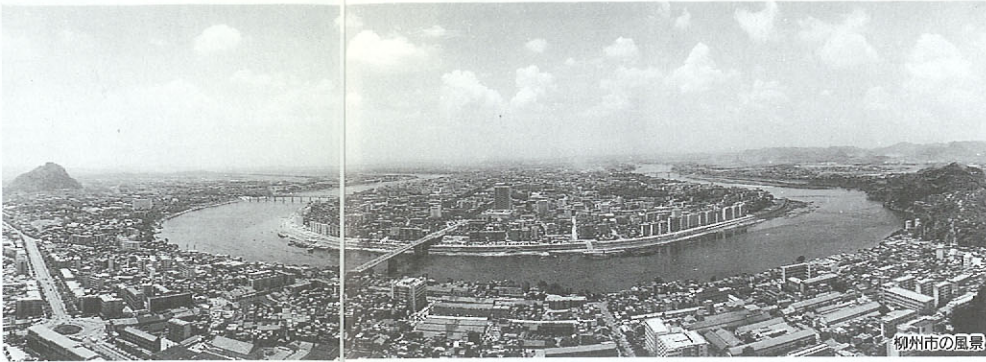
熊本の印象や帰国後について、それぞれのように語ってくれました。



授業中の彭さん(左)と章さん(右)



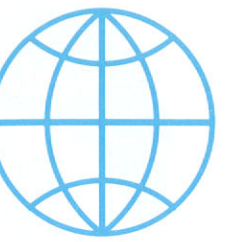
歌舞妙舞笑滿坡(旧暦1月15日の苗族の跳坡節のお祭り)



柳州市の風景

くまもと in the WORLD

中国広西壮族自治区との姉妹提携交流レポート



広大な中国大陸。その南部に位置する広西壮族自治区と熊本県は、1992年5月、友好提携を結びました。熊本県にとって最初の友好提携でした。

今、広西壮族自治区との交流は、留学生や技術研修生、農業考察団の受け入れなど、人的交流を中心に進められています。



- ・人口36,000,000人
- ・面積236,000km²
- ・主な農作物
米、さとうきび、とうもろこし
- ・主な鉱産資源
マンガン

十二の民族が暮らしている

広西壮族自治区

中国は、人口の九〇パーセントを占める漢族のほか五十五の少数民族をもつ多民族国家です。そのため全国に五つの少数民族自治区があり、広西壮族自治区もその一つ。区内には壮、苗、瑶、侗など十二の少数民族が生活しています。地理的には中国の南部に位置し、北部湾(トンキン湾)に面してベトナムと隣接しています。気候は亜熱帯。南部では一年中霜が降りないという温暖な所です。

留学・研修で広がる

交流の輪

友好提携を結んで以来、広西壮族自治区からは、毎年留学生・研修生が熊本を訪れています。彼らは三ヶ月から一年の在熊期間中、それぞれ農業、通

信、医療など様々な分野の技術・知識を学習。「火の国まつり」など地域の行事にも参加しています。

スポーツ・文化面では、一九八五年から毎年、本県から高校生スポーツ交流団を派遣。一方昨年の県民文化祭イン天草では、同自治区から児童書画家を招き、県書道連盟や天草の小学校と交流が図られました。

民間では、熊本県日中交流協会が留学生・研修生との支援交流、訪中活動などを活発に行っています。一昨年には、県民歌「火の国旅情」のメロディーに桂林の情景を詠んだ詩をつけた「桂林三江」を制作。友好の証として色々な場面で歌われています。

また熊本の歯科医師の間では、研修生の受け入れがきっかけとなって、歯科医療機器を中国に送る運動を開始。六月には第一号機が中国に送られました。

“人”を主体に進められている本県と広西壮族自治区との交流。今、より広く、強い結びつきへと発展しています。



福島知事を表敬訪問した成克杰主席

ミニ・ニュース MINI NEWS

去る6月8日から13日まで、広西壮族自治区主席一行が来熊。来年の姉妹提携10周年に向けての交流協議が持たれました。



美麗的山水(桂林山水の朝)